

5・2 港湾整備関係

5・2・1 国際コンテナ戦略港湾政策

国土交通省港湾局「国際コンテナ戦略港湾政策推進委員会」は、2014年1月、国際コンテナ戦略港湾政策の深化と加速に向けた「集貨、創貨および競争力強化の個別施策（3本柱）」を含む報告書を取りまとめ、その後、同個別施策の実施状況をフォローアップすべく適宜会議を開催してきた。

2018年度は、2018年8月3日に第9回、2019年2月21日に第10回委員会が開催され、「最終とりまとめ」に盛り込まれた個別施策をフォローアップするとともに、今後の政策目標と個別施策を盛り込んだ「最終とりまとめフォローアップ」が承認された。同フォローアップでは、2019年から概ね5年以内の政策目標として、国際コンテナ戦略港湾における多方向・多頻度の直航サービスの充実によるわが国立地企業のサプライチェーンマネジメントへの貢献が掲げられた。また、今後の取り組みとして、フィーダー航路網の充実および積替機能強化、荷さばきおよび保管等の複合機能を有する物流施設のコンテナターミナル近傍への立地促進、世界最高水準の生産性と良好な労働環境を有するAIターミナルの実現、等が記されている。加えて、政策目標の達成状況や個別施策の進捗を確認するため、同委員会の下に実務者レベルの「国際コンテナ戦略港湾政策推進ワーキンググループ」が設置されることとなった。

委員会には当協会から磯田副会長が参画した。

5・2・2 交通政策審議会港湾分科会

2018年度、交通政策審議会港湾分科会は4回開催（第71～74回）され、港湾計画の改訂や一部変更の審議を行うとともに、港湾政策の中長期政策「PORT2030」を取りまとめた。また、PORT2030の取りまとめを機に「港湾の開発、利用及び保全並びに開発保全航路の開発に関する基本方針」の全体的な見直しを行うこととし、第75回会合（2019年5月15日）の最終化を目指し、審議が進められた。

当協会からは、磯田副会長が委員として参画した。2018年度における本分科会の主な議題は以下の通り。

【第71回】2018年6月27日

- ・港湾計画（審議）：秋田港（改訂）、伏木富山港（一部変更）
- ・港湾の中長期政策（審議）
- ・「港湾の開発、利用及び保全並びに開発保全航路の開発に関する基本方針」の変更（審議）
- ・平成30年度 特定港湾施設整備事業基本計画（案）（審議）

【第72回】2018年11月14日

- ・港湾計画（審議）：千葉港（改訂）、茨城港・平良港（一部変更）
- ・「港湾の開発、利用及び保全並びに開発保全航路の開発に関する基本方針」の変更（審議）

議)

【第 73 回】2019 年 1 月 24 日

- ・「港湾の開発、利用及び保全並びに開発保全航路の開発に関する基本方針」の変更(審議)

【第 74 回】2019 年 3 月 7 日

- ・港湾計画(審議):大阪港・堺泉北港・広島港・下関港(改訂)、横浜港(一部変更)、その他の一部変更(苫小牧港、秋田港、神戸港、別府港)
- ・「港湾の開発、利用及び保全並びに開発保全航路の開発に関する基本方針」の変更(審議)